

えこびれクラブ活動の ご紹介

今年はコロナ感染の影響で、イベントも一般ビジターも少ないけれど、会員さんによる自主活動が活発に行われています。

ピンヤードクラブがワインブドウの除草や除葉に精を出す出す傍ら、自給クラブが野菜の栽培を、野草クラブは敷地内の野草を採取してあっと驚くお料理を作ってくれたり、みなさん、農的暮らしを楽しんでいます。



自然の声を聞きながら心身の健康を維持するエコビレッジライフ。あなたも参加しませんか。

ぶどうジュース 絶賛販売中！

大黒山から吹き下ろし、モンガク谷を抜ける風と、太陽が育むエコビレッジのワインぶどう。お酒を飲まない方や、お子さまにも楽しんでいただけるように、とっておきのジュースに仕上げました。「ツヴァイゲルトレーベ」、「セイバル」の2種をミックスし、無添加・無加糖で仕上げたストレートジュースです。



商品一覧

500ml 2本セット	3,000円
1000ml 2本セット	5,500円

送料一覧

北海道	1,030円
東北	1,310円
関東・信越	1,530円
近畿	1,750円
中国・四国・九州	1,750円
沖縄	1,760円
離島	個別対応

2021年度 会員、アンバサダー 引き続き募集中です

活動を応援してください！

私たちの活動は会員さんの会費・寄付によって支えられています。アンバサダー会員には、ワインやスイーツなどの加工品詰め合わせを定期的にお送りします。(詳しくはHP、FBで)

- ◆正会員 年会費一口10,000円 (総会の議決権あり)
- ◆サポート会員 年会費一口5,000円

・ゆうちょ銀行から
【記号】19070【番号】38886511
【口座名義】
トクビ)ホッカイドエコビレッジスイシンプロジェクト

・ゆうちょ口座のない方は振替用紙を使うと手数料がお安くなります。
【口座番号】02700-9-85080
【口座名義】北海道エコビレッジプロジェクト

・北洋銀行から
【口座番号】宮の森支店 普通 4031861
【口座名義】
トクビ)ホッカイドエコビレッジスイシンプロジェクト

・クレジットカード
右記のQRコードから Syncable (シンカブル) というウェブサイトへ飛び、必要事項をご記入いただいた上、お手続きをお願いいたします。(VISA/MASTERのみ)



入会のお申込み・お問合せは下記まで

【余市エコビレッジ】
余市郡余市町登町 1863
*JR 余市駅からバスで10分
(赤井川線でモンガク下車)、
徒歩3分

【Tel/Fax】
0135-22-6666

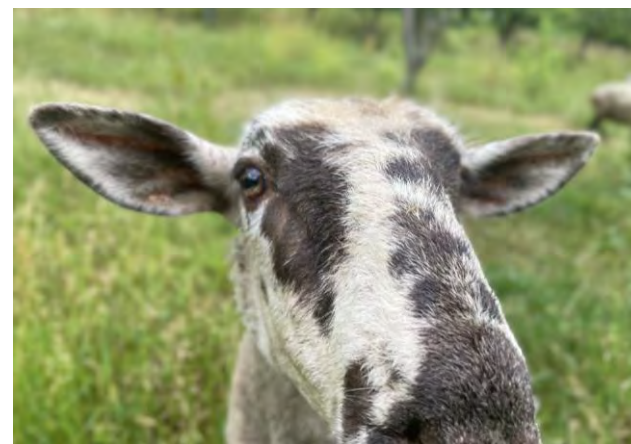
【Eメールアドレス】
y.ecocollege@gmail.com

【Web ホームページ】
<http://ecovillage.greenwebs.net/>



えこびれ
notes

VOL.46 JUL.



作成・発行

NPO 法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト

■エコカレッジ:余市町登町 1863

■office:札幌市中央区宮ヶ丘2丁目1-1-303
Hokkaido Eco-village Promotion Project

オンライン・エコカレッジ開催中

初のオンライン開催となるエコカレッジ。第1回は6月16日、有坂美紀さん（RCE 北海道）をゲストに招いて盛況に終わりました。初めてエコビレッジのイベントに参加されたという方が多く、それがきっかけで会員になってくださったり、現場を見学に来られたり、オンラインでもつながり効果があるという実感を得ました。

毎月第3水曜日に開催予定。Zoom ビギナーの方には練習時間もありますよ！今後のラインナップは以下のとおりです。

第3回 8月18日（水） 講師：榎本英剛さん（よく生きる研究所代表）

特別版「僕らが変わればまちが変わり、まちが変われば世界が変わる ～トランジション・タウンという試み」出版記念
ヒデさんが行く♪ 全国行脚プロジェクト@余市エコビレッジ

2009年、神奈川県相模原市旧藤野町から発信されたトランジションタウン活動は、現在では全国で60カ所以上で活動が続いています。世界では、40カ国以上、1000カ所を超える地域の市民活動です。パーマカルチャーをベースに、気候変動や資源の枯渇という地球規模の問題を地域の人のつながりで解決できるように実践するという活動です。

藤野では、藤野地域通貨よろづ屋をはじめ、藤野電力などの活動が現在でも活動中です。また、この活動によってまちの資源が可視化されて、さまざまなプロジェクトが生まれてきました。このトランジションタウンという活動の魅力、そのエピソードなどをストーリー仕立てで紹介します。

第4回 9月15日（水） 講師：樋口佳樹さん（日本工業大学）

「環境共生型汚水浄化システム」

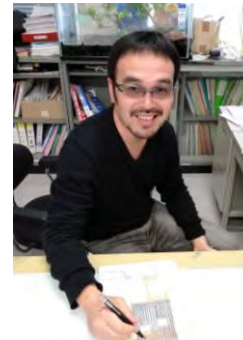
自分の生活の中で汚した水は、誰がきれいにしてくれているのでしょうか。公共下水道の普及により、便器のレバーをひねると汚物が消えてなくなる便利な生活に慣れていますが、このような便利な暮らしは、大きな災害などに直面すると限りなく無力になります。これからは、生活インフラ（上下水や電気など）に頼らなくても工夫して暮らしを継続できる力（生活力）がますます必要となるのではないでしょうか？

この講座では、発展途上国の水環境の現状を紹介し、発展途上国や災害時に活用が期待できる電力を使わない排水浄化法について概要を説明します。最後に、エコビレッジに試験的に導入している家庭用ハイブリッド人工湿地による浄化システムの設置から浄化性能について報告します。

第5回 10月20日（水） 荒井一洋さん（大雪山自然学校代表理事）

「サステイナブル・ツーリズムとは ～持続可能な観光の考え方とその実践～」

そもそも観光は、資源を持続可能な形で利用する方法であったはず。しかし、オーバーツーリズムをはじめとする観光の問題点が発生しています。そこで、世界では「サステイナブル・ツーリズム」という概念で観光をとらえ直すようになりました。今回は、「サステイナブル・ツーリズム」とは何か。そして、現場では、どのように達成され、どのように豊かな社会づくりに貢献していくかを考えます。



new! | キャンパスアジア受け入れ

東京大学、北京大学、ソウル大学の学生たちと、余市の魅力や課題を素材に、地域のSDGsにつながるツーリズムについて議論しました。

初顔合わせの異文化集団が、オンラインでしかもすべて英語という設定で、お互い不安も苦労もありました。それでも、意欲に溢れた質問や提案を投げかけてくれ、私たちも「地域の資源を学びに活かし、学びの力を地域づくりに」という可能性を感じました。

3か月の間、何度もセッションを重ねるうちにと学生たちとのコミュニケーションが深まったことも嬉しかったな～。みんな、いつか余市で会おうね！

new! | タイニーハウス 供用開始

昨年秋から建設を進めていたタイニーハウス。塗装や設備などの仕上げにもたくさんのボランティアに協力してもらい、ついに完成しました。

太陽光発電（500W）、コンポストトイレ、水はポータブルタンクという完全オフグリッド環境。森の静かさを楽しみながら、一人に飽きたら母屋でみんなと食事や会話をしたり、畑作業をしてリフレッシュできるのも魅力です。農村の住宅問題やワーケーション推進の一助になるのではと期待しています。

なお、今年度は会員様に限ってモニター利用していただけます。見学は可能ですので、興味のある方はお知らせください。

（本事業は北海道リスタート事業の助成を受けて実施しました）

